

Conception of evidence based functional dietetics

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/33593

『学会開催報告』

「食」による
生活習慣病予防医学の展開

Conception of evidence based functional dietetics

金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学

山本 靖彦

脳・肝インターフェースメディスン研究センター

井上 啓 (代表世話人)

去る平成24年12月6日、KKRホテル金沢において金沢大学政策課題解決型研究・第3回脳・肝インターフェースメディスン研究センターシンポジウム「『食』による生活習慣病予防医学の展開」が当該研究センターの井上啓教授を代表世話人として開催されました。

このシンポジウムは、臓器連関に基づく生体恒常性維持機構を応用し、「食」または「食品成分」による確かなメカニズムを有した生活習慣病予防法を開発することを目標にしています。また、産官学コンソーシアムの形成を目指して毎年行っており、今回の開催が3回目となります。食品科学・農学、医薬学、環境学など幅広い領域を横断したコンソーシアムの形成のために、積極的に情報、意見の交換を行う場でもあります。有用と考えられる「食」あるいは「食品成分」に関してのシーズ候補から、生活習慣病予防・治療効果を検証し、最終的には「エビデンスに基づく食 (Evidence based functional dietetics)」の生活習慣病予防・治療の拠点形成を行うことを目的としています。

今回の第3回「『食』による生活習慣病予防医学の展開」では、全国から昨年を上回る計118名の参加者と11題の一般講演発表があり、基調講演は不二製油(株)フードサイエンス研究所の河野光登先生に「不二製油のご紹介と生理機能研究への取り組み」という演題でご講演いただき、特別講演は星薬科大学薬理学の成田年教授に「エピジェネティクスによる生命現象と後天的疾患：環境による修飾」という演題でご講演いただきました。盛会裡に最新の知見、研究の進捗状況の発表と活発な情報

交換が行われました。中村信一学長、山崎光悦副学長・理事(研究担当)、井関尚一医薬保健学域研究域長、長野勇前副学長・理事、田中隆治前副学長・理事にもご臨席いただき、外部アドバイザーである東京大学農学生命科学研究科・阿部啓子教授、国立国際医療研究センター・春日雅人理事長、東北大学農学研究科・宮澤陽夫教授からはこの取り組みへの今後の期待と厳しい講評をいただきました。さらなる連携や共同研究推進への機運が高まったと思っております。

最後に本シンポジウム開催にあたりましてご支援、ご協力を賜りました金沢大学関係各位、脳・肝インターフェースメディスン研究センター事務スタッフの皆様方に改めまして心より御礼を申し上げます。

